

大腸内視鏡 及びポリープ切除 入院計画表

	初診日	~	検査前日	検査当日	翌日	~ 退院
説明	診断/説明をします。   看護師が検査食・内服薬について説明します。			検査結果について説明 します 当日帰宅 * 状況により入院が必要となります * 腹痛や下血などがありましたら、お知らせ下さい。	検査後の注意事項について説明します。 	
検査	心電図 胸部・腹部レントゲン 血液検査、注腸造影 			大腸内視鏡・ ポリープ切除		
処置	便秘症の人は緩下剤を処方しますので 申し出て下さい。			自宅にて 	午前病院外来にて 	
治療 (服薬・点滴)	バイアスピリン・パナルジン等の内服中止5~7日間 * 常用薬のある方は、手術当日に飲む薬の確認をしますので、入院前の外来受診の日になりましたら、飲んでいるお薬を全部持ってきて下さい。 			食事止め流動食 下剤内服 (チネラック)	下剤内服 (ニフレック2000m l) 内服後は何度かトイレに立つこととなりますが排泄液が透明になるまで続けます。 	必要に応じ入院 常用薬再開
合併症精査	既往症の確認をします (心臓・脳神経・肺・肝・腎) 常用薬の確認をします (バイアスピリン・パナルジン等) 外科以外の診察の必要な場合は、専門の医師と相談の上検査を行います。					
食事	(検査が決まりましたら、看護師が検査食をお渡します)		前日から検査食となります 水分はお茶や紅茶程度ならば当日まで飲むことができます。 * 牛乳やジュースは飲まないで下さい。	朝、昼は絶食となります 夕食から常食になります。  * ポリープを切除した場合は、食事が制限されることがあります。(看護師が説明に伺います)		
生活	制限はありません。					